

名張の縄文・弥生時代

1. 名張の昔を知るには、日本全体のことや、アジアの動きなどを、関連づけて見ることで名張のことがもっと知れると思います。
2. 名張の主な縄文・弥生時代の遺跡 別紙配布
3. 日本列島に人々がいつやって来たか おおよそ4万年前とされています。 最古の出土物 局部磨製石器
4. 大陸と陸続きのときがあった 氷期の海水面運動で海面が今よりも遙かに低い。 後期石器時代や縄文時代は気温が低かった。
5. 旧石器時代後期、縄文時代、弥生時代、古墳時代、以降は省略
新発見により 縄文時代はBC13000年に、弥生時代は500年繰り上げBC800年に変更
6. 前期・中期の旧石器捏造事件
7. 世界最古の磨製石器が群馬県岩宿遺跡、世界最古唯一の落とし穴 鹿児島県中種子町
世界最古の釣り針 沖縄 現在の所
8. 関東ローム層
立川ローム層…約1万年前～3万年前、武蔵野ローム層…約3万年前～6万年前
下末吉（しもすえよし）ローム層…約6万年前～13万年前、多摩ローム層…約13万年前～40万年前
9. 日本ではVEI-7以上の噴火は7000年 - 1万年に1回程度の頻度で発生 VEI-7以上の 噴火量
7,300年前 - 鬼界 等、3万年前 - 始良等、9万年前 - 阿蘇等
10. 旧石器時代後期 (4万～1万3千年前) 磨製石器の発見
昭和24年(1949)、群馬県岩宿遺跡の関東ローム層中から槍先形尖頭器といわれる「旧石器」を相沢忠洋氏が発見 約3.5万年前(岩宿I石器文化)と約2.5万年前(岩宿II石器文化)が判明
旧石器時代にはないとされている磨製石器を発見
日本の旧石器時代の調査・研究は、岩宿遺跡発見から始まった。現在までに、日本列島全域で4000カ所を超える遺跡が確認 ほとんどが約3万年前から1.2万年前の後期旧石器時代
岩宿遺跡の磨製石器3万5千年 は世界最古
11. 黒曜石 後期旧石器時代から使われる
12. 旧石器時代は氷期 温暖化するの1万5千年前

13. 放射性炭素年代測定法
誤差があり補正が必要。日本には国債標準の福井県にある水月湖の堆積物
14. 世界最古級の土器の出現時期が日本列島の最寒期だった。(16,500年前)
15. 近郊の早期の縄文遺跡
縄文時代早期初頭 大川式土器 山添村、草創期末 大鼻遺跡 亀山市
16. 色々な縄文土器 比較
小松市 念仏林遺跡1号住居跡出土縄文土器 縄文時代中期
「火焰型土器」国宝・新潟県 笹山遺跡出土 深鉢形土器 高さ46.5 縄文時代中期
17. 国内最古級の土偶 出土(縄文時代草創期)
松阪市飯南町 粥見井尻遺跡 1万2千年前、東近江市 相谷熊原遺跡 1万1千年前
18. 布目ダム周辺の縄文遺跡
和田遺跡(桐山)・ウチカタビロ遺跡(北野) ダム建設工事の最中に発見
桐山和田遺跡 集石炉 縄文時代早期(15,000年前)、隆起線文土器とよぶ最古の土器
桐山和田遺跡 有溝砥石 縄文時代早期(15,000年前)
19. 縄文時代前期中頃～中期末の例 三内丸山遺跡 日本最大級の縄文集落跡 約5900年前～4200年前
1,000年以上続いた集落 大型建物には500人も入れる。
交易が広範囲 北海道の良質な気泡の少ない黒曜石 糸魚川の翡翠
20. 名張の最古の石器
白早生遺跡 縄文時代草創期のサヌカイト有舌尖頭器 約1万年前
21. 広瀬遺跡 山添村 縄文中期末～後期の遺跡 約4000年前～3000年前 縄文時代後期の住居跡
22. 名張市の最古縄文土器 赤目垣添遺跡 縄文時代後期 早期の大川式に類似する楕円押型文土器 遺物
23. 赤目檀遺跡 縄文時代前期末(約5500年前)の近畿系土器
赤目地区 辻垣内遺跡 縄文中期前葉の船元IV式に属す(約4,800年前)
後期前葉(約4,000年前) 北白川式(中期末)縄文土器
24. 下川原遺跡 縁帯文土器深鉢 中期～後期 4000年前～3000年前 近畿地方形
縄文後期の柄鏡形住居 中部山岳で中期後半発生 関東に多い
静岡県、愛知県、三重県の海岸部を飛び越えて名張に、最西端
関東系の色彩の濃い 土器8文字 土面の破片 晩期の土偶 2700年ほど前
柄鏡形住居 埋壺(うめがめ) 乳幼児の埋葬施設や胞衣壺 壺に絵が氣を受け命を授かる女性
移動と共に食料は 大豆など
丹生の入った土器も出土

25. 縄文時代後期に稲作が始まる 弥生時代の始まりか
 今から 3000 年前 福岡県雀居遺跡（ささい遺跡） 板付遺跡近く 福岡空港を作るときに発見
 土器に付いていたススを分析 放射性炭素年代測定法で紀元前 10 世紀
 賛否両論で中間派の間をとって 500 年遡り 紀元前 800 年が弥生時代の始めとされ議論継続
 弥生人の食生活 どんぐりがトップ
 最初の弥生集落出現は、板付遺跡（いたづけいせき）や雀居遺跡（ささいいせき）など 足跡が
26. 稲について ジャポニカ米（温帯ジャポニカ米、熱帯ジャポニカ米）インディカ米
 巾や長さではどちらかは決まらない、混在している。
 核 DNA 配列の ps-id（のりしろ）からジャポニカ 熱帯 6c7a か 7c6a のタイプ 温帯 6c7a のみ
 インデカ 8c8a 6c9a 等 6c7a や 7c6a は出てこない
 温帯ジャポニカ：水田稲作 高度な技術と経験と道具 人数多い
 熱帯ジャポニカ：どこでも適応 人数少ない 焼き畑も
 縄文時代遺跡 青森県田舎館村・高樋Ⅲ遺跡 水田遺跡出土の 8 品種を PCR 法で増幅し電子泳動で
 バーコード模様を調査 温帯ジャポニカは出ず 7c6a 熱帯ジャポニカが出た（約 2,100 年前）
 縄文人が持ち込んだ熱帯ジャポニカ
 弥生遺跡 守山市 下之郷遺跡（2,100 年前 弥生中期）温帯ジャポニカと 4 割の熱帯ジャポニカ
 弥生時代でも縄文人が持ち込んだ熱帯ジャポニカがまだ使われている。
 弥生時代日本列島の大方の場所では、水田で熱帯ジャポニカが栽培されていた。
 米の遺伝子 植物細胞には核、ミトコンドリア葉緑体 葉緑体は母親の遺伝子しか相続しない
 その DNA は同じコードの繰り返しがあり、そのつなぎ目が SSR（シンプル・コード・リピート）と呼
 ばれ 8 つの変形版がある a, b, c, d, e, f, g, h と呼び
 中国には 8 種（長江下流が起源地） 韓国には b を除く 7 種 日本は a, b と少しの c
 中国長江下流の起源地から直接日本に少し伝わる a, b 朝鮮からも a と c のみが少し
 中国・長江下流域から日本に直接伝搬。唐古鍵遺跡と池上曾根遺跡の炭化米からこの b 遺伝子が発見。
 a, や少しの c 遺伝子種子の伝来 中国から直接か韓半島経由か
 しかし朝鮮半島の水田稲作に関しては朝鮮南部約では 2500 年前の水田跡が松菊里遺跡が最初とされ
 日本は 3,000 前に福岡県雀居遺跡（ささい）から C14 調査で発見
27. 名張の縄文時代後期から弥生時代の遺跡
 中戸遺跡（なかのと）赤目相楽 縄文時代土器は 4000 年前 後期初頭～晩期 福田 k2 式（縄文後期前半）
 と北白川上層式（縄文後期）の中間で広瀬土層 40 段階（山添村広瀬）の土器が出土
 またこの遺跡は弥生に続く弥生時代の方形周溝墓は弥生時代中期中～後 特徴は四隅が途切れる。
28. 方形周溝墓について：弥生時代の墓制は大きく三つの段階
29. 名張の弥生時代
 土山（どやま）遺跡：弥生時代前期中段階の土器と東海地方条痕の土器（水神平）系の土器と一緒に
 見つかる。尾根の平坦部の現在水田部分から初期農耕が考えられる。陸稲（おかぼ）稲作の可能性
 集落はこの後、白早生遺跡に移動し、その後に入参峠遺跡に移り、再び古墳時代に戻る。
 土山遺跡出土 遠賀川式土器 西日本に多い弥生時代前期の土器 初期稲作の指標（約 2200～2100 年前）
 入参峠遺跡：弥生前期 前期後半の遠賀川系の壺や甕の破片

30. 弥生中期

下川原遺跡など 名張川沖積により広がった平地 縄文時代～続いている弥生時代の遺跡
伊勢湾・東海地方系の土器が多いが後には近畿系土器
方形周溝墓 1 隅、2 隅、3 隅、4 隅 が切れている方形周溝墓 中戸遺跡（なかのと）と繋がるのか
御所垣内遺跡 安部田 弥生時代中期後半 立地が高台の住居、倉庫、墓が見られ高地性集落の要素

31. 弥生後期

塚原遺跡など 川の河岸段丘上や独立丘陵の頂上付近 に環濠を築くなど防衛的な要素が出現
3 世紀に倭国大乱 女王卑弥呼の時代

32. 倭国大乱 弥生時代後期の 2 世紀後半に倭国で起こった争乱。

中国の複数の史書に記述が見られる。日本史上初の大規模な戦争

男子王が 70～80 年を経て倭国が相争う状況となり争乱は長く続いたが、邪馬台国の一人の女子を王とすることで国中が服した。名を卑弥呼という。

中国書 『三国志』魏書 卷 30 東夷伝 倭人（魏志倭人伝）『後漢書』卷 85 東夷列傳第 75 などに記録

33. 塚原遺跡 弥生後期～古墳時代の土器へ

34. 蔵持黒田遺跡 手焙形土器（弥生後期～古墳初 150 年間）手焙形土器は名張で約 50 個中 32 個がここ

他の手焙形土器出土 井出遺跡 白早稲遺跡 井出屋敷遺跡 東町遺跡 西遺跡

火を使用したような煤の痕跡は確認されず他の用途と考えられる。弥生時代の後期から古墳時代の初めにかけて見られ、中国地方から関東地方に分布するが、特に近畿地方に多い。用途は不明。

遺跡を一点ずつ紹介すると大変な時間がかかります。

この辺りで縄文時代、弥生時代とします。

名張市郷土資料館 にお出かけになっていただければ幸いです。

コロナ対策もよろしくお願いします。

ありがとうございます

主な参照資料

名張市史 資料編 考古、名張市郷土資料館、山添村歴史民族資料館、奈良県大和高原の縄文文化 松田真一、
発掘された日本列島 2014 他 文化庁、日本発掘 文化庁、稲の日本史 佐藤洋一郎 他、その他